

令和3年度 第5回 豊後大野市地域公共交通会議  
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：令和4年3月10日（木） 14：00～  
場所：豊後大野市役所 2F 第2会議室



1. 開会

事務局：ただいまより、令和3年度「第5回豊後大野市地域公共交通会議及び豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を同時開始いたします。

2. 会長あいさつ

会長：本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。平素より本市の交通行政にご理解とご協力を賜りまして感謝申し上げます。コロナ禍ではありますが、直接ご意見をいただきたく、昨年11月以来になります。集まっていただきました。オミクロン株が猛威を振るっていますが、公共交通を考えていく上では、是非利用者目線でご意見をいただきたいと思います。本市の取組みとして、スポーツ合宿誘致、サウナのまちづくりを展開しております。サウナは産業振興、観光振興にも貢献して、来訪者が約4倍となっています。皆様の闊達かつ忌憚のないご議論を宜しく願いいたします。

3. 報告事項

(1) バス停コンテスト及び優良乗務員表彰について

事務局：資料の説明（省略）

事務局：今年度は、感染症拡大防止の観点から表彰式は開催せず、直接現地にて表彰させていただいております。

会 長：この件についてご質問等ありますか。ご意見等無いようですので、次に移ります。

(2) 豊後大野市コミュニティバス及びあいのりタクシーの利用状況について

事 務 局：資料の説明（省略）

バス・タクシー・鉄道事業者の方に現状をご説明頂きます。

中山委員：大野竹田バス（株）の中山です。現在の状況ですが、他の交通事業者と同様の傾向にあると思います。乗合については、令和元年度から令和2年度にかけて、乗合収入が78.9%と2割以上の減収となっています。令和3年度は回復してくるかと思っ  
ていましたが、3年度は2年度に対し94.4%と、落ち幅は少ないものの減少しています。高齢者と学生がメインの利用者で、年々少しずつ落ちていましたが、コロナ禍で高齢者の外出機会が少なくなっているのだと思います。外出機会が少なくなることが生活スタイルとして定着してきていて、元には戻らないのでは、と予想しています。

貸切ですが、これまでは乗合事業は赤字であったところを貸切で補填するという事業構造でした。コロナ禍になって、旅行等の機会やイベント・行事も少なくなっているため、令和2年度は67.2%まで落ちました。令和3年度は前年比は112%、対令和元年比は68.3%となっています。学校行事の有無に大きく左右されている状況です。貸切事業は、コロナ禍脱却後、最後に回復するものだと考えています。感染の波のたびにキャンセルされており、今後が見通せない、大変厳しい状況であると  
考えています。

日坂委員：豊後大野市タクシー協会の日坂です。タクシー業界は、人の流れに左右される業界で、自助努力だけではいかんともしがたい状況です。プレミアム付きタクシーチケットが昨年販売となり、大きな起爆剤となりました。10月からは大きな売り上げの伸びがあったのですが、その後、オミクロン株でまた移動に制限がかかり、1月から2月にかけては収入がかなり落ち込んでいます。この流れが上向くことは難しい  
と思っており、起爆剤が必要だと考えています。それがないとなかなか成り立たない  
と思いますので、機会があればまたタクシーチケットの販売等、延命治療をお願い  
したいと考えております。

池田委員：JR九州大分支社の池田です。一昨年は前年比46%まで利用が落ち込みました。福岡をはじめとする中長距離の需要が少なくなったことが大きな要因だと考えます。そのため、三重町駅の営業時間を7:30～15:00までと短縮します。運行を持続させるためにも可能な経費の削減などにご理解いただければ、と思います。駅の無人化も進めている状況ですが、利用促進では、3月26日に三重町駅を発着としたJR九州ウォーキングを実施する予定です。駅を軸としたマイクロツーリズムの動きになりますが、時間があれば是非ご参加いただければありがたいと思います。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策にかかる豊後大野市の支援状況について

事 務 局：資料の説明（省略）

会 長：この件についてご質問等ありますか。ご意見等無いようですので、次に移ります。

(4) 豊後大野市コミュニティバス大野犬飼線 実証実験の状況について

事務局：資料の説明（省略）

会長：この件についてご質問等ありますか。ご意見等無いようですので、次に移ります。

4. 議題

(1) 豊後大野市地域公共交通計画（素案）の承認について

(2) 豊後大野市地域公共交通計画策定業務の期間延長について

事務局：資料の説明（省略）

会長：それでは、ただ今の内容に関しまして、質問・意見などありましたらよろしくお願ひします。

吉岡委員：3点お伺いしたいと思います。

- ①数値目標の指標で、コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数が目標設定されていますが、幹線の再編などいろんな課題が考えられる中で、路線バスについては数値目標を立てる必要があるのかなのか、その確認をさせていただきたい。
- ②計画策定と国庫補助が連動するようになりました。豊後大野市さんも35系統のフィーダーがあると思います。その旨を計画に書き込むことが原則となっていますが、色々と変更が出てくることも想定されますので、別紙扱いで準備する方向で考えております。記載方法など、運輸支局と別途打合せを持たせていただきたい。
- ③実施事業の公共交通の利用促進策にMaaSのところ「MaaaS」という記載がありますが、これはどういう意味でしょうか？

事務局：お答えします。

- ①4条運行の路線バスのコミバス化など課題を洗い出して、変更していく可能性もありますので、路線バスを入れることも考えられるかとは思いますが。数値目標は今後、相談していきたいと思ひます。（路線バス+コミュニティバスの組合せなど）
- ②別途打ち合わせをよろしくお願ひいたします。
- ③デジタル化が大きな流れとしてありますが、主な利用者の高校生と高齢者のうち、高齢者については、デジタルでの対応が難しい部分もあると思ひます。公民館での案内や地域振興協議会を通じた利用促進など、アナログ的な対応も必要ではないか、ということで、「a」=アナログを1つ多く付けてみています。確か、大井教授がどちらかで発言されていたのでは、と記憶しております。

大井委員：私は、「MaaaS」という言葉は使用しておりませんので、人違いではないかと思ひます。

それで、2点お伺いしたいと思います。

- ①基本方針の当初案について、順番を変更した方がいいのではないか、と提案させていただきました。というのも、この計画は5年計画であり、大きな見通しを立てるものとして位置付けられるので、特に中長期的な方針の枠組みの中で細かい事業のことを書いてもあまり意味がないと考えられます。短期的な方針についての事業を優先して記載してはどうか、という提案でした。

②101ページの数値目標ですが、1人当たりの運行コストというのはどういう単位での数値でしょうか。

事務局：お答えします。

①基本方針の順番についてですが、豊後大野市の置かれている状況として、路線バス、コミバスの大きな見直しは必要不可欠であると考えており、今の基本方針の1と2については、非常に重要なポイントだと思っておりますので、こちらを先にした形にしております。

②年間の運行コストを年間の利用者数で割り戻した形で算出しています。

大井委員：②については、住民の感覚として、例えば1日当たり数百円だとして、これぐらいなら払ってもいいという金額の見せ方を工夫することも考えられるのではないかと、思います。

あと、追加で3点お願いしたいと思います。

お願い①：P102、モニタリング調査結果の情報共有の部分ですが、毎回協議会においてコミュニティバスの利用者の表などが提示されています。平成26年度に国土交通大臣表彰を受賞しましたが、そこで評価された点の1つに、「目標数値に達しなかったら運行を見直す」というトリガー制度が挙げられます。トリガー制度についても計画の中に書き込んだ方がよろしいのではないかと思います。

お願い②：PDCAサイクルの部分で最後のAのアクションから、計画のPにどう修正して戻すか、その流れはほとんどやられていないと思います。AからPへのサイクルもきちんと明示した方がいいのでは、と考えます。

お願い③：公共交通を使ってもらおうと考えたときに、0人を100人にするのは非常に難しいです。そうした中で、利用して到着した目的地での楽しさを感じてもらおうことが重要だと思います。訴求の仕方として、年1回でも使ってもらって、まずは公共交通に慣れてもらうことが重要だと考えます。先ほどのJRのウォーキングイベント等も、まさにそういった取り組みの1つだと思います。

会長：今の大井教授からのご意見なども踏まえて、今後、事務局の方で調整させていただければ、と思います。今後のスケジュールについてはどうなっておりますでしょうか。

事務局：パブコメを4月下旬～5月で実施し、6月の協議会で最終案を承認いただく、という流れを考えております。

会長：それでは、まず(1)の議案について、継続議案ということにはなるかと思いますが、承認される方は拍手をお願いいたします。

一同：拍手（承認）

会長：次に(2)の議案について、承認される方は拍手をお願いいたします。

一同：拍手（承認）

(3) 豊後大野市コミュニティバス大野犬飼線 実証実験期間の延長について

事務局：資料の説明（省略）

会長：それでは、ただ今の内容に関しまして、質問・意見などありましたらよろしくお願

します。

会 長：特になければ、ただ今の議案について、承認される方は拍手をお願いいたします。

一 同：拍手（承認）

会 長：ここまでが本日の議題となります。それでは進行を事務局にお返しします。

## 5. その他

事 務 局：他にみなさんから何かございますでしょうか。

中山委員：各自治体で計画策定が動いておりますが、公共交通のとても厳しい状況の中で、思い切った計画に舵を切ったところもあるようです。豊後大野市は先進的な取組をしてきたがゆえに、これまでの延長線上での検討が中心となり、逆に思い切った改革が難しくなっているのではないかと認識しています。また、乗務員不足が大きな課題となっており、運行の持続が非常に厳しい状況になっています。今は貸切が動かないので、その運転士が乗合に来て対応していますが、貸切が元に戻ってきた際は、乗合の日常的な運行業務もさらに厳しくなってくると思います。2種免許を取得することが難しい、ということ以前に、そもそも運転士になりたいという人が少ない状況です。緑ナンバーでの供給力が乏しくなってくる、という背景をご認識いただいた上で、計画策定していただきたいと思います。

## 6. 閉会

事 務 局：以上を持ちまして、本日の協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

令和3年度「豊後大野市地域公共交通会議」「豊後大野市地域公共交通活性化協議会」  
委員出席者名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠
委員	清水 豊	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○
委員	赤星 成實	住民代表 豊後大野市自治会連合会 会長	○
委員	矢野 源平	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会 会長	欠
委員	麻生 春彦	地元経済団体 豊後大野市商工会 副会長	欠
委員	田崎 真佐恵	行政機関(県) 大分県豊肥振興局地域創生部長	○
委員	古川 卓	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所長	○
委員	福田 雄一郎	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課長	○
委員	池田 裕記	鉄道事業者 JR九州(株) 大分支社副支社長	○
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	欠
委員	渡邊 憲一	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会専務理事	代
委員	中山 勝宏	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役社長	○
委員	日坂 泰弘	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会 会長	○
委員	赤嶺 勝己	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○
委員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	欠
委員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部門教授	○
委員	吉岡 順一	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○
委員	本田 勝司	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	○
委員	河室 晃明	行政機関(市)公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	○
委員	宮崎 勝一	行政機関(市)福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長補佐兼生活保護係長	○
委員	後藤 樹代文	行政機関(市)高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	○
委員	後藤 泰二	行政機関(市)市道管理者 豊後大野市建設課長	○
委員	中城 美加	行政機関(市)スクールバス担当 豊後大野市学校教育課長	○
事務局	古庄 英之	まちづくり推進課 地域振興係長	○
事務局	赤嶺 哲平	まちづくり推進課 地域振興係 主任	○
コンサル タント	高峯 高	日本工営株式会社	○
	津田 圭介	日本工営株式会社	○